

令和元年度北秋田市商工会 戦略・施策・事業評価結果の概要

令和元年9月27日
北秋田市商工会

1 評価の実施

▽評価方法

評価は、プランの体系を成している5つの戦略、10の施策、23の事業を対象に、推進状況の把握や課題を抽出し、進捗管理や効果的な推進のため数値目標の達成度や必要性・有効性・効率性の観点から実施します。

また、評価結果については第三者を加えた評価委員会を設置し、自己評価の客観性を確保することとしています。

以上のことをもとに、改善点等を今後の取組に反映させ、社会環境や商工会環境の変化に応じて、計画の見直しを図りながら、プランの着実な推進と事業者サービスの充実に繋げていきます。

2 評価結果の概要

▽評価結果

- 戦略数5のうち、A判定1(20%)、B判定0(0%)、C判定4(80%)

5つの戦略のうち、4戦略については各々の施策の一部に取組の遅れがみられ、C評価となった。各取組の準備は進んでおり次年度以降成果に繋げていきます。

- 施策数10のうち、A判定1(10%)、B判定5(50%)、C判定4(40%)

取組の遅れている「事業承継の推進」、「農業者等会員加入」、「地域振興事業等見直し」、「財政計画策定」の各施策は商工会の運営を左右する重要な施策であることから、慎重かつ早急に取り組を進めていきます。

- 事業数23のうち、A判定5(22%)、B判定12(52%)、C判定6(26%)

取組事業のうち、事業者個社支援、商工会情報の発信、職員の資質向上等には成果がみられた。事業承継、農業者等会員加入、地域振興事業等見直しに関しては関係者との共通理解に時間を要しているが、丁寧な事業説明、支援計画策定によりしっかりと取組を進めていきます。

▽評価結果の活用

評価結果からは、当商工会の苦手とする取組が見えてきました。進め方の検討をし直し、次年度以降の計画に反映させ、事業の着実な推進と成果に繋げていきます。